

松ノ木小学校

図書に親しみ、調べる楽しさを味わう学校図書館

今の学校図書館

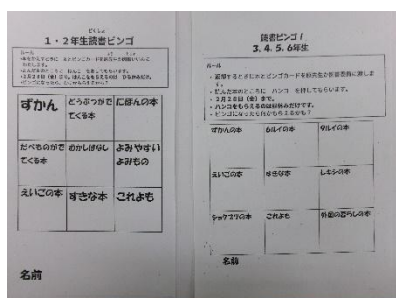
- ・図書館利用は、授業での来館がほとんどである。休みは外遊びの時間、昼休みに読書を目的に来館する子は少ない。
- ・1年生～5年生まではほとんど毎週来館する。授業内容は担任または講師と相談しながら、決めている。
- ・自分で本を選ぶ楽しさに気づき、興味関心に即した本選びができる子どもが増えている。

学校図書館の運営

- ・低学年が本を選びやすいように学校図書館のレイアウトを変更した。
- ・学年に応じた読書に親しめるように、独自の推薦図書“これよも”を選定。
- ・全学年「読書カード」に読んだ本を記録し、書誌情報を意識できるようにしている。

1年間の主な活動

- ・読書月間を各学期ごとに実施。
＊朝学習の時間は、読書を行う。
- 6月 図書集会の場で、図書委員が低・中・高に合わせた本のクイズを実施。
- 11月 先生の読み聞かせ『読書バイキング』を実施。書名のみ子どもたちに知らせ、聞きたい教室に移動。当日に読む先生がわかる。
- 2月 図書委員の考えた低・中・高学年の「読書ビンゴ」。お勧めの本のポスターを各教室に掲示。



特色ある取組

- ・通年で必要な学習資料を貸し出して教室前のブックトラックに置き、いつでも子どもたちが手に取れるようにしている。
- ・学校支援本部を中心とした図書ボランティア「おはなしポケット」が、月に一回各クラスで読み聞かせをしている。



また、月に一度、昇降口の壁面に学校司書が提案したテーマをもとに掲示物を作成。そこで使用した資料を図書館廊下に、「展示されている本」として展示している。



これからの学校図書館

- ・次年度以降、学習スペースと読書スペースを分け、学習に気持ちが向かいやすい環境を目指していく。
- ・借りることが目的ではなく、文学に触れて人の気持ちを考えたり、知らない世界を知ったりすることや学習資料や情報を収集・活用できるように担任と学校司書の協同を目指していく。